資料4

地域の明るい未来フォーラム in 西村山

地域の明るい未来に向けた
西川町の取組みについて

西川町長
菅 野 大 志

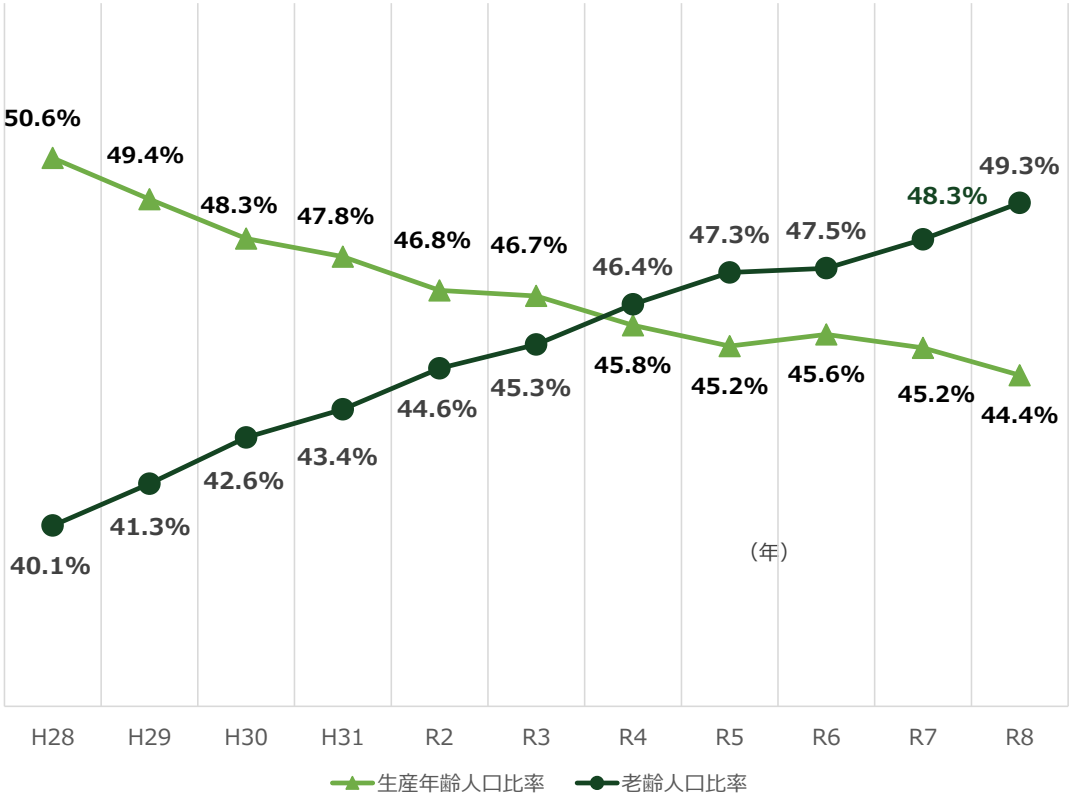
令和8年11月2日(月)

1．将来ビジョン：美しい西川を未来に残す

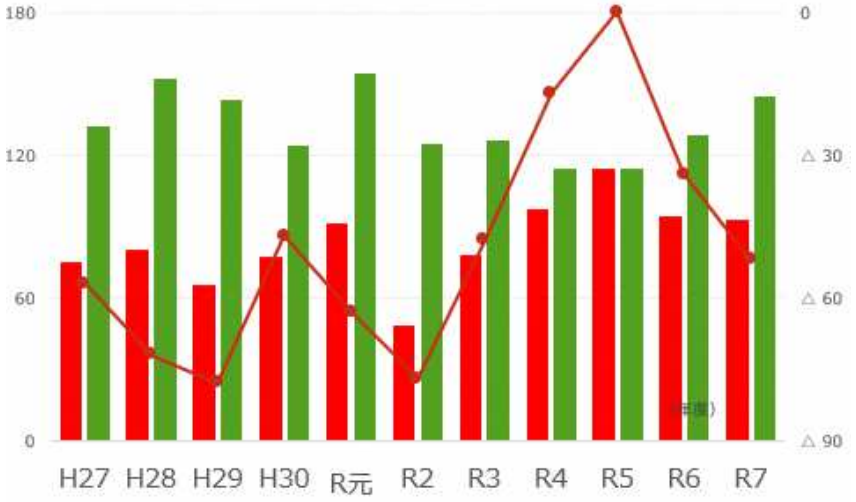
人口動態の推移

○人口減少対策等を進めてきたものの、毎年約100人ずつ減少。
○令和６年の**生産年齢人口（15～65歳）が0.4%増加**。

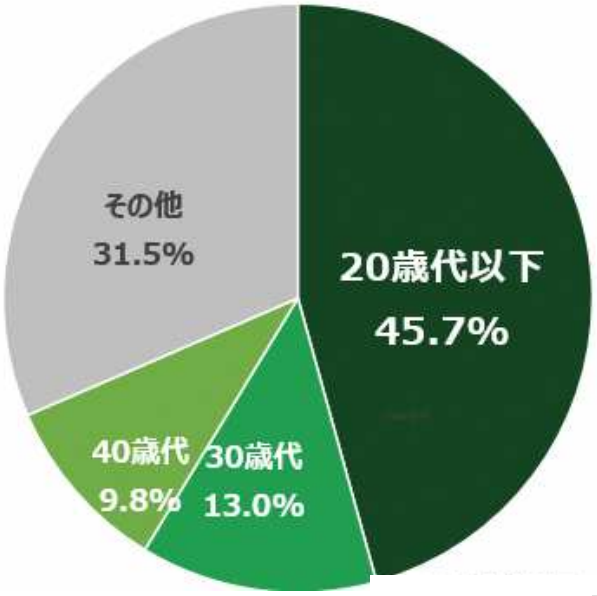
■類型別人口比率の推移（4月1日時点）



■社会増減の推移



■転入者の年代割合（令和７年度）



都道府県「寛容性」ランキング

都道府県	寛容性総合指標	女性の生き方	家族のあり方	若者信頼	少数派包摂	個人主義
東京都	1	1	1	2	1	1
神奈川県	2	2	2	1	2	2
大阪府	3	3	4	4	4	3
千葉県	4	4	3	2	5	4
埼玉県	5	7	4	5	6	5
			⟆			
青森県	43	42	37	45	41	38
山形県	44	34	42	43	45	45
富山県	45	45	47	41	44	44
秋田県	46	47	44	47	46	46
島根県	47	46	46	45	42	47

都道府県「地域の希望」ランキング

○「①地域の将来の直感的な見通し（明るいかくらいか）」
「②地域の展望（地域を良くすることは可能か）」
「③課題の対処可能性（地域の課題に対処可能か）」
「④地域の希望：感情（10年後の地域を考えた時のポジティブな気持ち）」の４つ。

○最下位は秋田県。**東北地方は**、青森県（45位）、山形県（44位）をはじめ、**総じて順位が低い**。

希望【高】都道府県		
1位	沖縄県	13.12
2位	福岡県	12.53
3位	東京都	12.41
4位	神奈川県	12.40
5位	愛知県	12.21
6位	大阪府	12.17
7位	宮城県	12.12
8位	兵庫県	12.11
9位	滋賀県	12.10
10位	埼玉県	12.08
11位	広島県	11.97

希望【中】都道府県		
12位	京都府	11.94
13位	石川県	11.89
14位	熊本県	11.87
15位	鹿児島県	11.80
16位	静岡県	11.79
17位	千葉県	11.77
18位	長野県	11.68
19位	奈良県	11.67
20位	福島県	11.64
21位	栃木県	11.61
21位	岡山県	11.61
21位	宮崎県	11.61
24位	群馬県	11.57

希望【中】都道府県		
25位	北海道	11.56
25位	香川県	11.56
27位	三重県	11.53
28位	大分県	11.51
29位	茨城県	11.47
30位	佐賀県	11.44
31位	富山県	11.41
31位	愛媛県	11.41
33位	島根県	11.40
33位	長崎県	11.40
35位	岩手県	11.39
36位	福井県	11.34

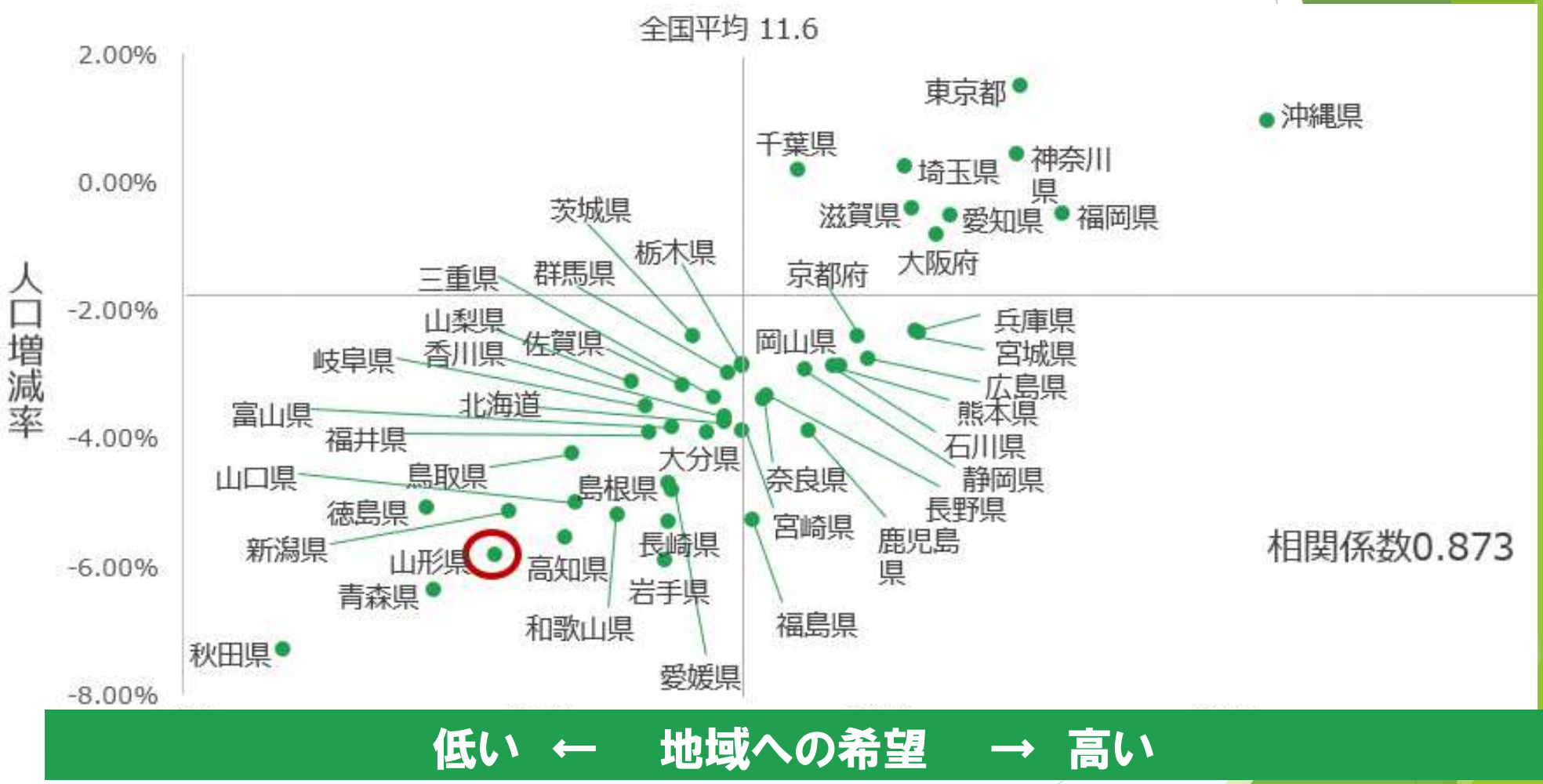
希望【低】都道府県		
37位	岐阜県	11.33
38位	山梨県	11.29
39位	和歌山県	11.25
40位	山口県	11.13
41位	鳥取県	11.12
42位	高知県	11.10
43位	新潟県	10.94
44位	山形県	10.90
45位	青森県	10.72
46位	徳島県	10.70
47位	秋田県	10.29

出典「地方創生のファクターX 寛容と幸福の地方論（LIFULL HOME'S総研）」

「地域の希望」と人口増減との相関関係

○**都道府県別の人口増加率と「地域の希望」の相関係数は0.873と高い相関**を示している。

○人口減少の激しい秋田県、青森県、高知県、徳島県がランキング下位に並ぶ。



2．重要プロジェクト・主要な施策

関係人口から移住へのハード･ソフトの一体的戦略

●令和６年度以降にオープンした**新たな施設の利用者は、延べ4.8万人（１年でTRAS2.5万人、カヌーセンター1.5万人、悠々館1万人）**
●令和６年７月に開始した「お試し暮らし住宅」（2,000円/日）は、保育園留学利用者など**708人**が活用。
●今後、**「ふるさと住民制度」**創設を踏まえて、二地域居住人口向けの取り組みも進めていく。

交流人口 → 関係人口 → 二地域居住人口 → 定住人口

ハード



サウナリニューアル
・若者層狙い
・月山の水活用



カヌーセンター
・レジャーカヌー
・全国大会誘致
・合宿誘致



にしかわ悠々館
・飲食、宴会
・ビジネスホテル
・テレワーク



TRAS
・コワーキング
・サテライトオフィス
・交流拠点



お試し暮らし住宅
・短中期滞在
・家具等完備



移住者用住宅、25年マイホーム

●交流・関係・二拠点居住人口事業は、デジ田国都交付金と観光再生高付加価値化、特別交付税が財源

ソフト

AI観光、Sea to Summit

にしかわ夏祭り、月山和牛三酒まつり

保育園・小学校留学

保育園・小学校留学

デジタル住民票

おたすけ隊（協力隊インターン）

移住・子育て等の支援・助成

すっだい補助金

帰ってきてけローン

タブレット配付

地域おこし協力隊

保育園留学の推進

○保育園留学は、町外の保育園児を持つご家族を、にしかわ保育園を利用して**２週間**まで受け入れるもの。
○園児が保育園にいる間、**両親はTRASでテレワークを行う**など、西川町で仕事をしながら暮らし体験。
○令和５年度から開始して以降、これまで**述べ69家族・95人が利用**。**１家族は、二地域居住。**

保育園の強み

	西川町	国基準	東京
１人の保育・遊戯室	8.39	1.98	2.9～40.5
１人の屋外遊技場	43.71	3.3	7.67
保育士１人の園児	4.64	5.32	5.2

	春	夏	秋	冬
受入	2名	24名	8名	16名

目 的	①新たな西川ファンの獲得」 ②保育園の維持･雇用確保 ③お友達を受け入れる（寛容性向上）
効果	◎保育園職員の雇用維持 ◎町営住宅の賃料収入増 ◎域内消費の拡大









再訪率	２８％
ふるさと納税	５６％
改修費用	国

西川町版地域おこし協力隊インターン「おたすけ隊」①

■目的・特徴

目　的	①関係人口を移住に ②若い労働者の確保 ③町民の寛容性向上
特　徴	▶「おてつたび」、**地域商社**で募集 ▶町・企業負担ゼロ（**全額特別交付税**） ▶町民の困りごとに幅広く対応 ▶隊員は**シェアハウスで共同生活** ▶**隊員交流会**に町長・つなぐ課長が参加 ▶つなぐ課・地域商社が丁寧に伴走









■成果

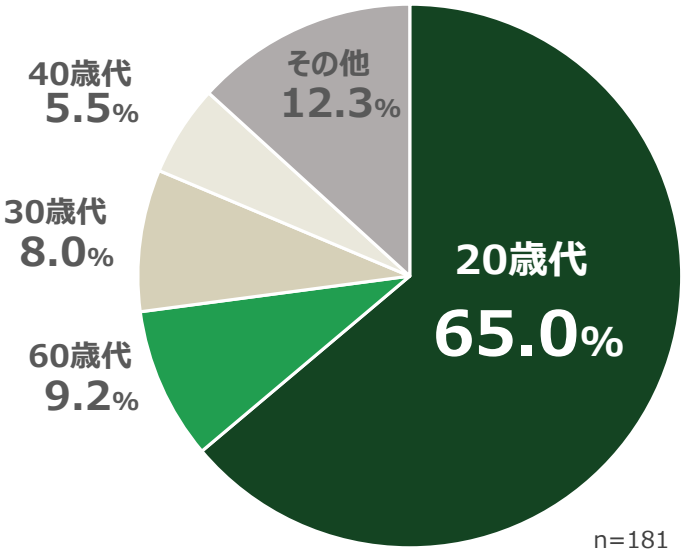
※令和8年3月31日時点

延べ活動日数	延べ隊員数
4442日	268人

※実人数は181人

リピート率	移住者数
21.3%	12人

■おたすけ隊参加者の年代内訳



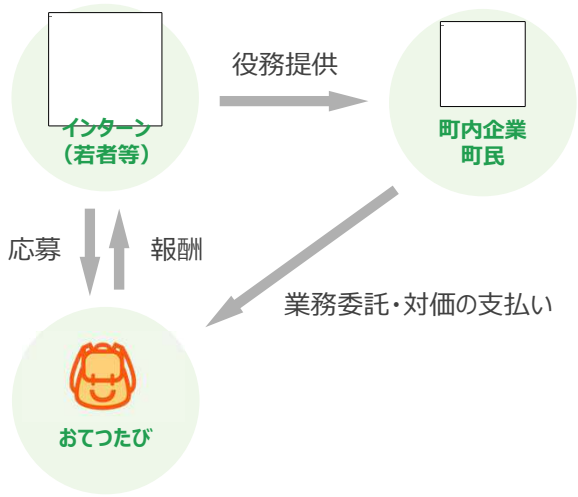
n=181

※令和8年4月1日時点

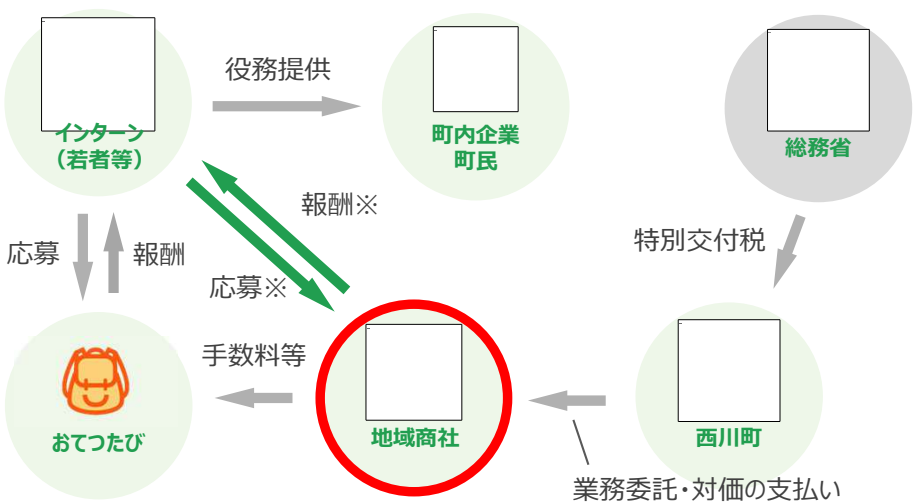
2 「おたすけ隊」と地域商社の関係

月山のある町 西川町 NISHIKAWA TOWN

通常のスキーム



西川町スキーム



つなぎ役

絆の深い関係人口

保育園留学	51人
お助け隊	268人
SNS等	２万人



西川町　つなぐ課

保育園留学



髙橋　諒

㈱月と山

Uターン



安達さくら

協力隊



福島 真理

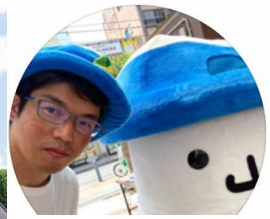


上原 梨花

お助け隊



㈱総合開発



堀　豊

協力隊



磯合 勇斗

お助け隊・保育園留学の裏には・・・たくさんの有志団体が・・



工藤治郎さん・悦子さん



西川ドリームクラブ（奥山妙子代表）



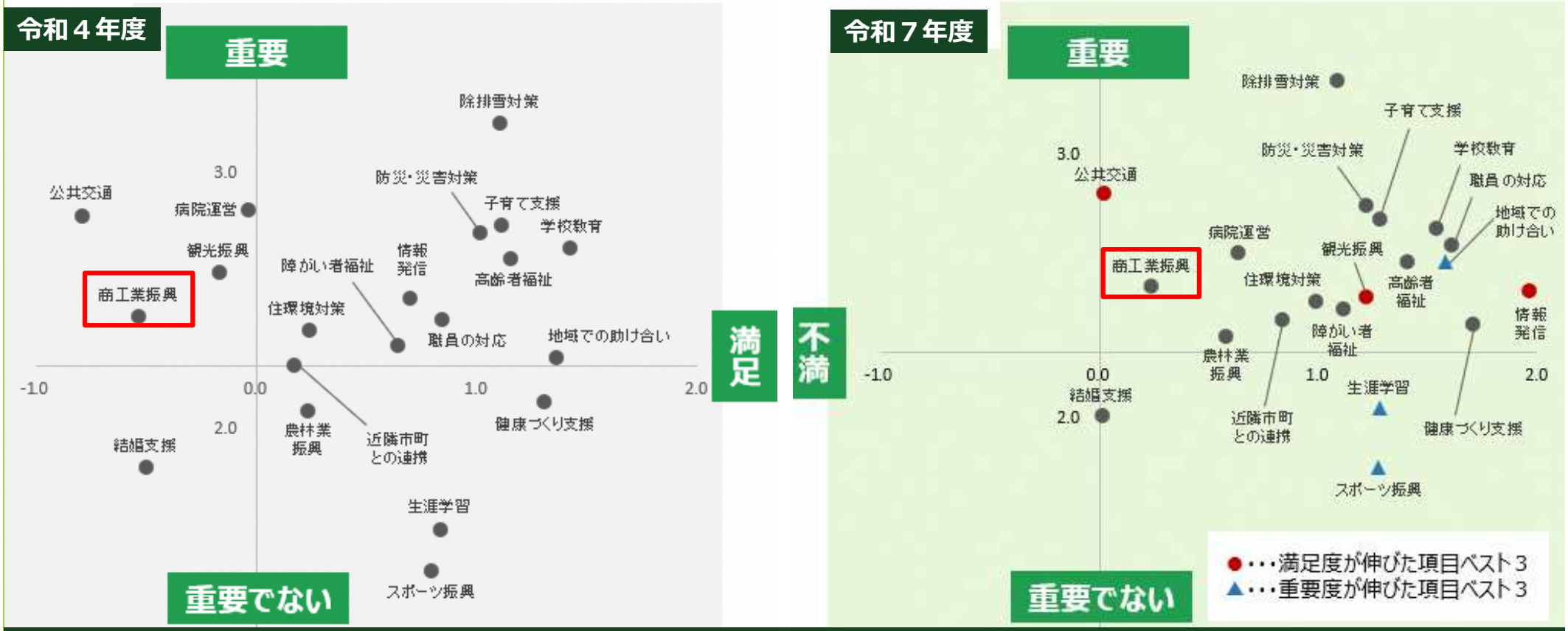
サロンdeいりまる　いきいきサロン団体の皆様



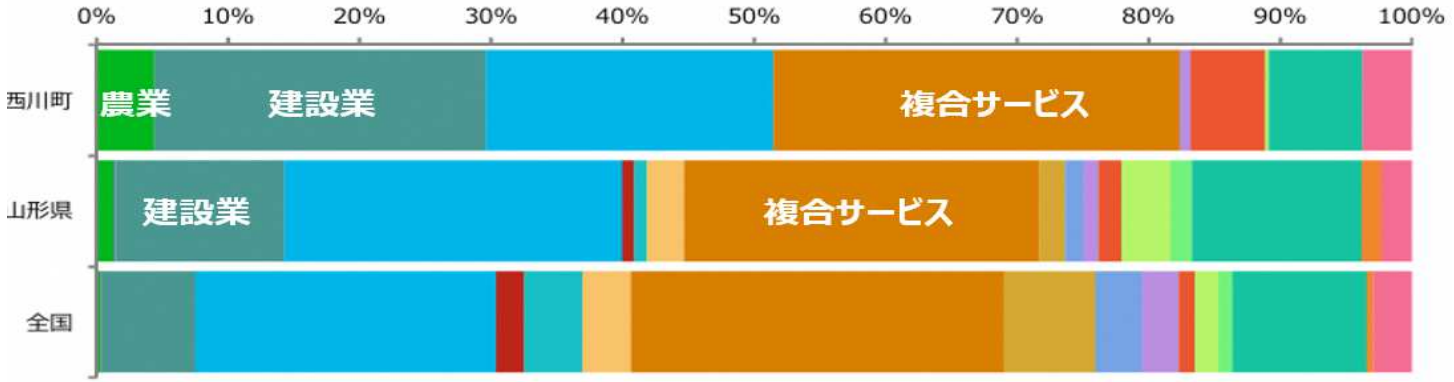
佐藤　正子さん・昇一さん・近松さん

3．今後の展望（なりわい創出）

西川町の現状　町民アンケートの結果（R4➡R7）



西川町内での業種別売上額



町の強みを生かす、かつ人流を創れる「モンベル」の誘致

GASSAN・ASAHI OUTDOOR BASE 構想

自然・人・地域をつなぎ、人流と地域経済の好循環を創出する拠点形成プロジェクト

ここにしかない自然が、人をつなぎ、まちを変えていく。



地域の課題

商店の減少など、地域経済の縮小

- **商店の減少**
  買い物環境の変化・地域のにぎわい低下
- **人口減少・高齢化**
  地域経済の縮小・担い手不足
- **交流・関係人口の不足**
  地域外からの人の流れが少ない

自然と人、地域と未来をつなぐ GASSAN・ASAHI

モンベルと連携



- 情報発信 フィールド案内
- レンタル 用品販売
- 交流・休憩 コワーキング
- イベント 体験プログラム

期待される効果

人流の創出により、地域経済の好循環へ

- **人流・交流人口の拡大**
  町外からの来訪者を増やす
- **地域内消費の拡大**
  宿泊・飲食・商店・体験などへの波及
- **滞在時間の増加・リピーターの創出**
  何度も訪れたくなる仕組みづくり
- **関係人口の創出・移住定住の促進**
  継続的に関わる人を増やす
- **地域経済の好循環**
  地域のにぎわいと持続可能なまちづくり

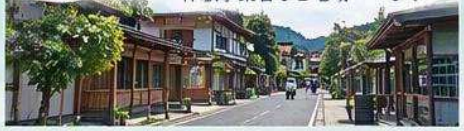
第7次総合計画　2. つながる

～ 人・自然・地域がつながり、未来へ続くまち 西川町 ～

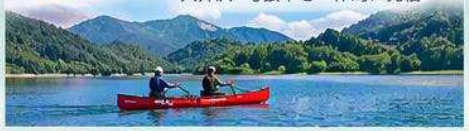
1. **人と自然をつなぐ**
   月山・朝日連峰・月山湖での多様な体験機会の提供



2. **人と地域をつなぐ**
   来訪者を宿泊・飲食・商店・体験事業者など地域へつなぐ



3. **地域資源同士をつなぐ**
   月山・朝日連峰・月山湖・志津温泉・大井沢・弓張平を一体的に発信



4. **関係人口と地域をつなく**
   リピーター・二地域居住・移住希望者との継続的な関係づくり



つながる力で、まちの未来をつくる。

豊かな自然が育む出会いが、人を呼び、地域を元気にする。

3．今後の展望（なりわい継承）

事業継承への取組

定住と就職を前提としたナリワイ留学

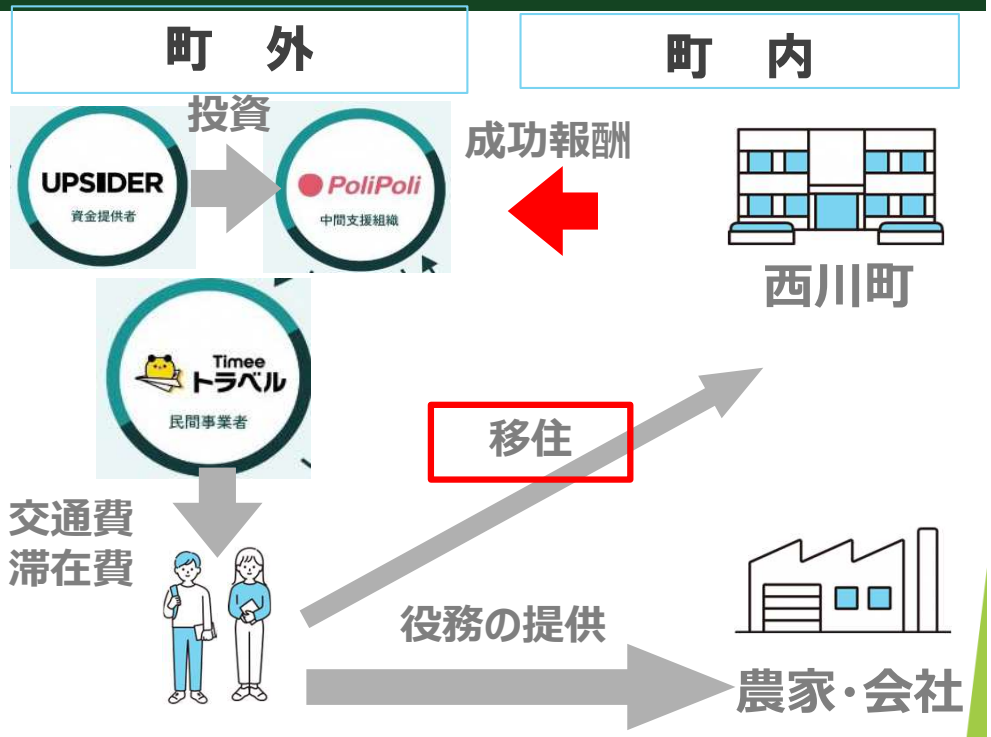
- 2026年9月～
- 受入期間：３週間
- 報酬支払：不要
- 滞在場所も提供



▲ナリワイ留学第１号の阿部翔太さん



農業のソーシャルインパクト投資



ナリワイ留学の仕掛け人・地域商社



- 伊東　絵里子さん
- ツキノワ合同会社

- 2023年～、地域おこし協力隊
- 退任後は、ゲストハウスとカフェを運営
- 地域の人を講師としたワークショップを企画
- 地域の暮らしに密着した体験型ツアー実施



齋藤哲也さん
2025年移住
啓翁桜など

●関係人口政策は
先行メリットを狙い、
準備してきた！

●さぁ挑戦だ！
ふるさと住民登録制度！

●寛容な町民の
皆さんとともに！



西川町